

## つながろう 子どもの未来のために 憲法と子育て・教育を考えるつどい 開く



2016年12月10日(土)千葉大学にて開催された「憲法と子育て・教育を考えるつどい」は、千葉県内をはじめ全国から270名が参加し、大変充実した「つどい」になりました。

『記録集』が出来ましたのでお送りいたします。

千葉県のさまざまな分野で活動されている117人の方が「つどい」の呼びかけ人になり、集会の宣伝や参加を呼びかけていただきました。教育子育て九条の会は、これを第9回全国交流集会と位置づけてとりくみました。

千葉をはじめ全国から、集会成功のために多くのカンパを寄せていただきました。ありがとうございました。

### 誕生から生涯にわたって、子どもの幸せと平和を

6回を重ねた実行委員会で、「今年は分科会の時間を十分とり、各地・団体のさまざまな取り組みの交流や、参加者がたくさん発言できるような形にしたい」との意見が出され、3時間弱の時間をあてました。

5つの分科会は、それぞれ数名の担当者が会議を重ねて内容を練り、独自のチラシを作成・配布したり、事前に子どもの声のアンケートをとったり、パワーポイントの画像を使って実態を報告したりなどの工夫がされました。『記録集』に掲載された分科会の報告からも、それぞれ実り多い内容や、参加者の熱い想いが伝わってきます。

全体会では、三輪定宣・千葉大学名誉教授と、教育

子育て九条の会の呼びかけ人でもある堀尾輝久・東京大学名誉教授が「戦後71年、今問われる憲法と戦後教育」と題して講演。憲法の成立過程における日本の平和・民主主義・人権の思想の結実、憲法の理想の実現をめざす1947年教育基本法のもとにはじまった新しい教育、それを今、根本から破壊しようとする安倍政権にどう立ち向かうかが、体系的に解き明かされました。

保育や幼児教育から小・中・高校・専門学校・大学の教育に携わる人、地域で子どもの学びや発達をサポートする人、青年の自立や労働を支援する人、高校生・専門学校生・大学生などが一堂に会し、「誕生から生涯にわたって、子どもの幸せと平和を！そのために手をつなごう」との思いを共有しあった一日でした。

### 憲法・教育基本法施行 70年



## 戦争への道か、世界に平和を発信する道か

### 憲法の真価を多くの人々にひろめましょう

今年は、日本国憲法とこれに基づく教育基本法が施行されて70年の記念の年です。

しかし安倍政権は、南スーダンでの自衛隊の武力行使を可能にし、辺野古への米軍基地建設を強行し、「共謀罪」による市民活動の抑圧をもくろむなど、世論も民主主義も無視し横暴な政治をすすめています。

教科書検定への政治的介入、道徳の教科化や学習指導要領の改訂などを通じて、教育内容や学校のありかたにまで統制を強め、これらで地ならしをしつつ、今年中にも「憲法改正」への具体的な着手をちらつかせています。

安倍政権の暴走をとめるには、広範な市民のたちあがりや野党の共同によって政治を変えるしかありません。

昨年12月に開かれた「九条の会」の全国交流集会総括会議でも、このような情勢のもとで九条の会が果たす役割について意見交換がされました。教育子育て九条の会も、さまざまな分野の人々と手をつなぎ、改憲の動きを阻み、子どもの日常と教育の場に憲法をいかす運動をひろげていきたいと思えます。